

総合的な学習の時間学習指導案

指導者 神石高原町立油木中学校
教諭 唐川健太郎
教諭 江草 浩之

- 1 日時 平成25年11月1日(金) 2校時
- 2 学級 第1学年A組 19名(男子14名, 女子5名)
- 3 場所 1年A組教室
- 4 単元名 地域の現状から町を知ろう
- 5 単元について

(1) 単元観

本単元は、ふるさとの福祉と産業について探究的に学習することを通して、地域や仕事への興味・関心を高め、自ら課題を見付け、さまざまな場面で仲間と力を合わせ協同的に学習を進め、主体的に課題を解決し、進路選択への意欲や関心を高めることを目標としている。本校の総合的な学習の時間の目標である「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力や学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができる」の基礎を培う単元である。

本単元では、ふるさとの福祉について知るために、地域の方の講話や体験学習を通して、そこで働いておられる方々の高齢者に対する思いを学習することで、他者に対する優しさが育まれることが期待される。また、ふるさとの産業について知るために、地域の方の講話や体験学習を通して、そこで働いておられる方々の地域産業を守り育てたいという思いを学習する。これらの学習を通して、地域の魅力を再発見し地域への関心が高まることが期待される。

学習活動としては、地域の方や新聞記者をゲストティーチャーに招いての講話や演習、地域に出向いてのインタビューや体験などの取材活動を行う。更に、地元JAと連携し、技術・家庭科の「生物育成に関する技術」の単元でトマト栽培と関連させることにより、生徒が主体的に取り組むことができると考える。そして、これらの活動をグループごとに新聞にまとめることで思考力・判断力・表現力を高めることができる。更に、制作した新聞は、学校内及び保護者、地域に発信するよう計画している。この1年次の「地域の福祉と産業」の学習は、2年次の「職場体験学習」、3年次の「町への提言」へと発展していくために有効な単元である。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、小学生の時、「地域の自然を調べたりまとめたりしよう」というテーマで調査研究を行い、地域への関心を高めてきた。中学校に入学し、地域の方をゲストティーチャーに招いての講話や演習、地域に出向いてのインタビューや体験などを行い、地域への関心が更に高まっている。

7月に行った意識調査では、次のような結果が得られた。

質問事項	肯定	否定
・自分たちの地域に関心がありますか。	18	1
・具体的に将来の職業は決めていますか。	15	4
・自分の考えや思いを文章にするのは得意ですか。	15	4
・グループの意見をまとめて発表できますか。	17	2

これらの結果から、多くの生徒が自分たちの地域に関心をもっていることがわかる。将来の職業については、「警察官」「保育士」「看護師」「建築士」「野球選手」など自分の夢をもっており、日々の学習や部活動に取り組んでいる。

また、思考力・判断力・表現力については、小学校の時に、理由や根拠を考えさせたり、主語・述語を使って文章で発表させることで、自分の思いや言いたいことを相手にわかりやすく伝える方法を繰り返し学習してきており、自分の考えや思いを文章化したりグループの意見をまとめて発表することにあまり苦手意識をもっていないことが分かる。しかし、実際に作文を書かせてみると、自分の考えや思いを文章に表現することが、うまくできない生徒も多い。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、将来の職業について更に深く見付めるために、地域の福祉施設や地場産業で働いている方々を招いての講話や演習、地域に出向いてのインタビューや体験などの取材活動を通して、地域の産業に対する興味・関心を高めるとともに、自ら課題を見付け、さまざまな場面で仲間と力を合わせ協同的に学習を進め、適切に課題を設定する力を育てたい。そして、自分が知ったことや感じたことや思ったことなどを話し合ったり、新聞を作成するなどの自分の考えを深める活動を通して、より具体的に自分の将来を見付け、今後の生活や課題について追究し、進路選択への意欲や関心を高めたい。

また、思考力・判断力・表現力を向上させるために、思考・判断させる場面では、お互いの思いや考えの共通点や相違点に気付かせながら自分の考えを深め文章にまとめることができるように、考える視点を提示したり、シンキングツールなどを使った言語活動を取り入れ、思考力・判断力を向上させたい。更に、新聞記者をゲストティーチャーに招いて取材内容を記事にまとめる演習を行い、自分たちの新聞づくりに繋げることで、表現力を向上させたい。

6 単元の概要

(1) 単元の目標

- ・地域への興味・関心を高め、夢と希望をもって充実した生活が送れるようにするとともに、進路選択への意欲や関心を培い、自己理解を深めて進路を計画しようとする態度を養う。
- ・地域の福祉と産業に関する学習を通して、主体的に課題を解決する態度を養う。
- ・さまざまな場面で仲間と力を合わせ、協同的に学習を進めていく態度を養う。

(2) 単元で育てようとする資質や能力及び態度

【学習方法に関すること】

- ア 適切に課題を設定する。(課題設定)
- イ 学習を通して課題の事実や関係を把握し、既習事項を活用し考える。(思考判断)
- ウ 相手や目的、意図に応じて手段を選択し、情報を収集する。(収集整理・分析)
- エ 相手や意図、目的に応じて表現する。(表現)

【自分自身に関すること】

- オ 自らの生活のあり方を見直し、日常的に実践する。(自己理解)
- カ 自己の将来を考え、夢や希望をもつ。(将来展望)

【他者や社会とのかかわりに関すること】

- キ 異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重する。(他者理解)
- ク 学校内外の人とのかかわりやコミュニケーションができる。(他者理解)
- ケ 互いの特徴を生かし、協同して課題を解決する。(協同)

(3) 単元で学ぶ内容

- ア 地域の福祉と産業の現状
- イ 地域で働く人々の存在とその夢や願い
- ウ 自分自身の職業的将来展望を模索する取組

7 単元の評価規準

観点	学習方法	自分自身	他者や社会とのかかわり
単元の評価規準	①キャリア教育の目的や意味を理解し、自らの課題、探究学習の仕方をつかんでいる。【(2) -ア】 ②自ら課題意識をもち、活動に取り組もうとしている。【(2) -ア・イ・ウ】 ③身近な職業について理解し、収集した情報を整理・分析している。【(2) -イ・ウ, (3) -イ】 ④学習で収集した情報を相手や意図、目的に応じて表現している。【(2) -ウ・エ】	①自らの課題をつかみ、目標を再設定している。【(2) -カ】 ②自分の生き方や人とのかかわりについて考え、まとめている。【(2) -オ】 ③身近な職業について理解し、自分の将来設計について考えながら学習へ参加している。【(2) -オ・カ, (3) -ウ】	①自ら課題意識をもち、活動の意義と目的を理解し、主体的に活動に参加し取り組んでいる。【(2) -キ, (3) -ア】 ②学校内外の人とのかかわりやコミュニケーションを深めている。【(2) -ク】 ③協同的な学習をして課題解決している。【(2) -ケ】

8 指導と評価の計画（計51時間）

段階	時数	学 習 活 動	評価規準及び 主な評価方法	
課題の設定 (福祉)	3	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ・総合的な学習の時間の「ねらい」や学習内容を知る。 ・小学校の総合的な学習の時間を振り返る。 ○課題の設定 ・ゲストティーチャー（福祉施設職員・社会福祉協議会職員）を招聘し、福祉について講話をしていただくとともに高齢者疑似体験セットを使い疑似体験を行う。 ・学習したことをもとに、自分が解決しなければいけないと考える課題を決定する。 	学① 他①	行動観察 ワークシート
情報の収集 (福祉)	8	<ul style="list-style-type: none"> ○体験を通じた情報収集 ・ゲストティーチャー（福祉ボランティア）を招聘し、認知症について講話をしていただくとともに、劇を交えて福祉について考える。 （「認知症サポーター養成講座」） ・福祉施設訪問学習の目的を確認し、訪問施設との連携に基づいて福祉施設訪問準備を行う。 ・福祉施設（シルトピア油木・安田いこいの家・陽光の里）訪問学習を行い、高齢者の方々と交流するとともに福祉施設職員の方々の仕事に対する喜びや苦勞・地域に対する思いなどについて聞き取りを行う。 	他① 自① 他②	行動観察 感想文 ワークシート 行動観察 感想文
課題の設定 (産業)	4	<ul style="list-style-type: none"> ○課題の設定 ・シンキングツール「KWL」を用いて、地域の産業について知っていることを整理し、ゲストティーチャー（地域の3事業所<和牛・味噌・トマト>）への質問を考える。 ・ゲストティーチャー（地域の3事業所<和牛・味噌・トマト>）を招聘し、仕事に対する喜びや苦勞・地域に対する思いなどについて講話を聞く。 ・学習したことをもとに自分が解決しなければいけないと考える課題を決定する。 	自① 他①	ワークシート 行動観察 感想文 ワークシート
情報の収集 (産業)	3	<ul style="list-style-type: none"> ○体験を通じた情報の収集 ・シンキングツール「KWL」を用いて、課題に基づいて地域産業に関する資料の収集と、事業所での質問内容などの準備を行う。 ・地域の3事業所<和牛・味噌・トマト>訪問学習を行い、仕事に対する喜びや苦勞・地域に対する思いなどについて聞き取りを行う。 	学② 自③	ワークシート 行動観察 感想文
(福祉・整理・産業)分析	1	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉と産業に関する学習の整理・分析 ・1学期学習した内容の振り返り（キャリアノートの記入）。 ・シンキングツール「KWL」を用いて、夏休みを利用して、どんなことが情報収集できるか考える。 	学②	キャリアノート

整理・分析 (福祉)	5	<ul style="list-style-type: none"> ○集めた情報の整理・分析 ・ゲストティーチャー（中国新聞社記者）を招聘し、取材のポイント・思い、紙面づくりのポイント・手順について講話を聞く。更に、新聞の「見出し」づくりについて演習を行う。 ・シンキングツール「イメージマップ」を用いて、「福祉」について、各班で記事の視点や内容を考え分担を決める。各自が分担する記事を書く。 	他② 学③	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 感想文 ワークシート
まとめ・表現 (福祉)	9	<ul style="list-style-type: none"> ○取材した記事を基に壁新聞の制作 ・記事の重要さを考え、壁新聞のレイアウトや絵や写真の挿入などを工夫し、紙面構成を決定する。 ・各自が「リード文」を書く。 ・「リード文」の編集会議を行い、トップ記事を決める。 ・シンキングツール「クラゲチャート」を用いて、トップ記事の「見出し」の編集会議を行う。 ・その他の記事の「見出し」を検討する。 ・壁新聞を完成させる。（文化祭で展示する。） 	自② 他③ 学④	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 行動観察 制作物
整理・分析 (産業)	3	<ul style="list-style-type: none"> ○集めた情報の整理・分析 ・シンキングツール「イメージマップ」を用いて、「産業」で学んだことを広げて、各班で記事の視点や内容を考え分担を決める。各自が分担する記事を書く。 	学③	ワークシート
まとめ・表現 (産業)	9	<ul style="list-style-type: none"> ○取材した記事を基にした新聞（A3版）の制作 ・記事の重要さを考え、壁新聞のレイアウトや絵や写真の挿入などを工夫し、紙面構成を決定する。 ・各自が「リード文」を書く。 ・「リード文」の編集会議を行い、トップ記事を決める。 ・シンキングツール「クラゲチャート」を用いて、トップ記事の「見出し」の編集会議を行う。【本時4／9】 ・その他の記事の「見出し」を検討する。 ・新聞（A3版）を完成させる。 （新聞を学校内及び保護者、地域に発信する。） 	自② 他③ 学④	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 行動観察 制作物
まとめ・表現 (福祉・産業)	5	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の福祉と産業に関する学習のまとめと発表 ・学習の振り返りを行い、礼状を書く。 ・地域の福祉と産業に関する学習発表の練習を行う。 ・保護者に発表を行う。 	学④ 自③	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 礼状 自己評価
	0	○文化祭で発表する。		
振り返り	1	<ul style="list-style-type: none"> ○1年間の学習を振り返り ・先輩の話から学び、キャリアノートにまとめと課題を記入。 	自③	キャリアノート・自己評価

9 本時の展開

(1) 本時の目標

読者に読みたいと思わせるトップ記事の「見出し」について、編集会議で熟議し決定することができる。

(2) 本時の観点別評価規準

協同的な学習をして課題解決している。

(3) 準備物

ホワイトボード（大3台）・ワークシート・評価シート・付箋紙

(4) 学習展開

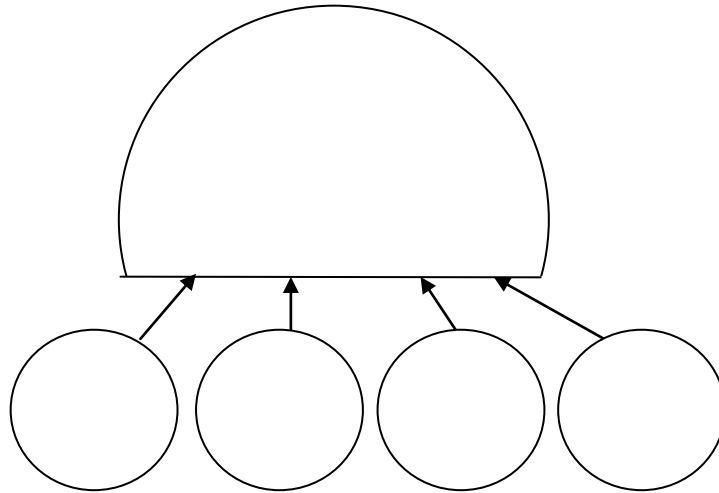
	学習活動	指導上の留意点 (●個別の指導の手立て)	評価規準 【評価方法】
導 入	1 前時の振り返り ○前時の学習内容を確認する。 ・決定した新聞記事の内容を確認する。 (各班の編集長に答えさせる)	・これまでの学習内容を想起させる。	
	2 本時の学習内容 ○本時の目標を知る。	・相手意識・目的意識を明確にさせるために、新聞記事にして、アピールするように促す。	
	編集会議において、読者が記事を読みたくなるトップ記事の「見出し」を決めよう。		
	○「見出し」のポイントを振り返る。	・9月に招聘したゲストティーチャー（新聞記者）から学んだことを想起させる。 ・指名して答えさせる。	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>※「見出し」とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑誌などで、内容の要点が一目でわかるように、本文の前につけた短い語句 ・読者に記事の内容が一目でわかる語句 ・「面白そうだ」「読みたい」と読者の興味をひきつける語句 </div>			
○読者が読みたくなる見出しのつけ方について振り返る。	・これ以外にもあれば指名して答えさせる。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>○読者が読みたくなる見出しのつけ方の指導のポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> ①記事の内容が、一目でわかる言葉 ②8～12文字 ③漢字とかな文字のバランス ④大きい方が主見出し、小さい方は袖見出し ⑤5W1Hのうち、2つ以上含まれている </div>			

展 開	3 編集会議（個人・グループ活動）		
	<p>○編集会議の流れを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記事を読んでトップ記事の見出しと理由をクラゲチャート<個人用>に記入する。（個人思考） ・編集長を中心に、クラゲチャート<グループ用>を活用して、見出しを考え決定する。（集団思考） 	<ul style="list-style-type: none"> ・編集会議の活動ポイント（補助カード）を確認する。 ●書き進まない生徒には個別に「キーワード」を見付けて○で囲ませるなどヒントを与える。 ●班員との共通点や相違点に注目させるために、個別にメモをとらせる。 ・自分で考えた見出しが決まったら、付箋に記入させる。編集長は全員が書いたらホワイトボードに貼って、各自の考えた見出しとその理由を交流させる。 ・話合いが活発に行われているグループを紹介し、参考にさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協同的な学習をして課題解決している。 <p>【行動観察・ワークシート】</p>
	○編集会議の活動ポイント（補助カード）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・個人思考・集団思考の場面が確保できるように時間配分を決める。 ・出された意見に対して、質問や賛成や反対の立場からの意見等が出るように編集会議を進行する。 ・キーワードをホワイトボードに整理しながら記録する。 ・意見が出なくなったら、隣同士で話したり個人で考えたりするなど、活動に変化をもたせる。 ・キーワードから「見出し」について理由を考え、決定する。 		
	○クラゲチャートでの整理において期待されるメモ内容		
	<ul style="list-style-type: none"> ・トマトの栽培技術 ・神石高原町のブランド ・神石牛のブランド力 ・生産者や栽培者の思い ・トマト栄養面について ・味噌づくりのひみつ ・トマト，味噌，牛を使用した調理方法 ・消費されるまで 		
ま と め	4 本時のまとめ		
	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループで決定した見出しとその根拠について発表させ、整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのグループの活動の様子，編集会議の進め方や発言内容などを評価する。 	
	5 本時の振り返り，次時の確認		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返り，次時の課題を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返り（自己評価）を書かせる。 ・その他の記事の「見出し」を検討することを伝える。 	

資料

<シンキングツール>

○クラゲチャート



<板書計画>

油木のブランド力 ～地域の産業を広島県に発信しよう～

本時の目標 **編集会議において、読者が読みたくなるトップ記事の「見出し」を決めよう。**

活動の流れ

- 1 本時の学習内容
- 2 「見出し」について振り返る
- 3 編集会議【25分間】
 - ・ワークシートに見出しと理由を記入（個人思考）
 - ・ホワイトボードで意見交流（集団思考）
 - ・見出しを決定
- 4 決定した「見出し」とその根拠を発表
- 5 振り返り・自己評価

見出しとは・・・

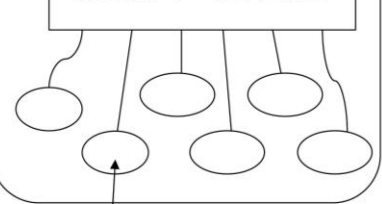
- ・雑誌などで、内容の要点が一目でわかるように、本文の前につけた短い語句。
- ・読者に記事の内容が一目でわかる語句。
- ・「面白そう」「読みたい」と興味を引きつける語句。

○読みたくなる見出しのつけ方のポイント

- ①記事の内容が、一目でわかる言葉
- ②8～12文字
- ③漢字とかな文字のバランス
- ④大きい文字が主見出し、小さい文字が袖見出し
- ⑤5W1Hのうち、2つ以上は含まれている

ホワイトボード

味噌の健康パワーで、がん予防も



味噌の底力が人の健康を維持！



1 単元名

「地域の現状から町を知ろう」

2 単元の概要

(1) 単元の目標

- ・地域への興味・関心を高め、夢と希望をもって充実した生活が送れるようにするとともに、進路選択への意欲や関心を培い、自己理解を深めて進路を計画しようとする態度を養う。
- ・地域の福祉と産業に関する学習を通して、主体的に課題を解決する態度を養う。
- ・さまざまな場面で仲間と力を合わせ、協同的に学習を進めていく態度を養う。

(2) 単元で育てようとする資質や能力及び態度

【学習方法に関すること】

- ア 適切に課題を設定する。(課題設定)
- イ 学習を通して課題の事実や関係を把握し、既習事項を活用し考える。(思考判断)
- ウ 相手や目的、意図に応じて手段を選択し、情報を収集する。(収集整理・分析)
- エ 相手や意図、目的に応じて表現する。(表現)

【自分自身に関すること】

- オ 自らの生活のあり方を見直し、日常的に実践する。(自己理解)
- カ 自己の将来を考え、夢や希望をもつ。(将来展望)

【他者や社会とのかかわりに関すること】

- キ 異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重する。(他者理解)
- ク 学校内外の人とのかかわりやコミュニケーションができる。(他者理解)
- ケ 互いの特徴を生かし、協同して課題を解決する。(協同)

(3) 単元で学ぶ内容

- ア 地域の福祉と産業の現状
- イ 地域で働く人々の存在とその夢や願い
- ウ 自分自身の職業的将来展望を模索する取組

(4) 評価規準

評価の観点	学習方法	自分自身	他者や社会とのかかわり
評価規準	①キャリア教育の目的や意味を理解し、自らの課題、探究学習の仕方をつかんでいる。【(2) -ア】 ②自ら課題意識をもち、活動に取り組もうとしている。【(2) -ア・イ・ウ】 ③身近な職業について理解し、収集した情報を整理・分析している。【(2) -イ・ウ, (3) -イ】 ④学習で収集した情報を相手や意図、目的に応じて表現している。【(2) -ウ・エ】	①自らの課題をつかみ、目標を再設定している。【(2) -カ】 ②自分の生き方や人とかかわりについて考え、まとめている。【(2) -オ】 ③身近な職業について理解し、自分の将来設計について考えながら学習へ参加している。【(2) -オ・カ, (3) -ウ】	①自ら課題意識をもち、活動の意義と目的を理解し、主体的に活動に参加し取り組んでいる。【(2) -キ, (3) -ア】 ②学校内外の人とかかわりやコミュニケーションを深めている。【(2) -ク】 ③協同的な学習をして課題解決している。【(2) -ケ】

3 単元計画

段階	月	時数	学習活動	観点	評価規準 (評価方法)	指導体制	教科等との関連
課題の設定 (福祉)	4月 5月	3	○オリエンテーション ・総合的な学習の時間のねらいや学習内容を知る。 ・小学校の総合的な学習の時間を振り返る。 ○課題の設定 ・ゲストティーチャー (福祉施設職員・社会福祉協議会職員) を招聘し、福祉について講話をしていただくとともに高齢者疑似体験セットを使い疑似体験を行う。 ・学習したことをもとに、自分が解決しなければいけないと考える課題を決定する。	学① 他①	・キャリア教育の目的や意味を理解し、自らの課題、探究学習の仕方をつかんでいる。(行動観察) ・自ら課題意識をもち、活動の意義と目的を理解し、主体的に活動に参加し取り組んでいる。(ワークシート)	学年	社会 保健 技術・家庭科

情報の収集 (福祉)	5月 6月	8	○体験を通じた情報収集 ・ゲストティーチャー（福祉ボランティア）を招聘し、認知症について講話をしていただくとともに、劇を交えて福祉について考える。 （「認知症サポーター養成講座」） ・福祉施設訪問学習の目的を確認し、訪問施設との連携に基づいて福祉施設訪問準備を行う。 ・福祉施設（シルトピア油木・安田いこいの家・陽光の里）訪問学習を行い、高齢者の方々と交流するとともに福祉施設職員の方々の仕事に対する喜びや苦勞・地域に対する思いなどについて聞き取りを行う。	他① 自① 他②	・福祉に関する学習で自ら課題意識をもち、活動の意義と目的を理解し、主体的に活動に参加し取り組んでいる。 （行動観察・感想文） ・福祉に関する学習で自らの課題をつかみ、目標を再設定している。 （ワークシート） ・福祉に関する学習で学校内外の人とのかかわりやコミュニケーションを深めている。 （行動観察、感想文）	学年	国語 社会 保健 技術・家 庭科
課題の設定 (産業)	6月	4	○課題の設定 ・シンキングツール「KWL」を用いて、地域の産業について知っていることを整理し、ゲストティーチャー（地域の3事業所<和牛・味噌・トマト>）への質問を考える。 ・ゲストティーチャー（地域の3事業所<和牛・味噌・トマト>）を招聘し、仕事に対する喜びや苦勞・地域に対する思いなどについて講話を聞く。 ・学習したことをもとに自分が解決しなければいけないと考える課題を決定する。	自① 他①	・地域の産業に関する学習で自らの課題をつかみ、目標を再設定している。 （ワークシート） ・地域の産業に関する学習で自ら課題意識をもち、活動の意義と目的を理解し、主体的に活動に参加し取り組んでいる。 （行動観察、感想文）	学年	国語 社会 保健 技術・家 庭科
情報の収集 (産業)	7月	3	○体験を通じた情報の収集 ・シンキングツール「KWL」を用いて、課題に基づいて地域産業に関する資料の収集と、事業所での質問内容などの準備を行う。 ・地域の3事業所<和牛・味噌・トマト>訪問学習を行い、仕事に対する喜びや苦勞・地域に対する思いなどについて聞き取りを行う。	学② 自③	・地域の産業に関する学習で自ら課題意識をもち、活動に取り組もうとしている。 （ワークシート） ・身近な職業について理解し、自分の将来設計について考えながら学習へ参加している。 （行動観察、感想文）	学年	国語 社会 保健 技術・家 庭科
(福祉・ 整理・ 産業) 分析	7月 8月	1	○福祉と産業に関する学習の整理・分析 ・1学期学習した内容の振り返り（キャリアノートの記入）。 ・シンキングツール「KWL」を用いて、夏休みを利用して、どんなことが情報収集できるか考える。	学②	・自ら課題意識をもち、活動に取り組もうとしている。 （キャリアノート）	学年	国語 社会 保健 技術・家 庭科
整理・ 分析 (福祉)	9月	5	○集めた情報の整理・分析 ・ゲストティーチャー（中国新聞社記者）を招聘し、取材のポイント・思い、紙面づくりのポイント・手順について講話を聞く。さらに、新聞の「見出し」づくりについて演習を行う。 ・シンキングツール「イメージマップ」を用いて、「福祉」について、各班で記事の視点や内容を考え分担を決める。各自が分担する記事を書く。	他② 学③	・福祉に関する学習で学校内外の人とのかかわりやコミュニケーションを深めている。 （行動観察、感想文） ・身近な職業について理解し、収集した情報を整理・分析している。 （ワークシート）	学年	国語 社会 保健 技術・家 庭科
まとめ・ 表現 (福祉)	9月 10月	9	○取材した記事を基にした壁新聞の制作 ・記事の重要さを考え、壁新聞のレイアウトや絵や写真の挿入などを工夫し、紙面構成を決定する。 ・各自が「リード文」を書く。 ・「リード文」の編集会議を行い、トップ記事を決める。 ・シンキングツール「クラゲチャート」を用いて、トップ記事の「見出し」の編集会議を行う。 ・その他の記事の「見出し」を検討する。 ・壁新聞を完成させる。（文化祭で展示する。）	自② 他③ 学④	・自分の生き方や人とかかわりについて考え、まとめている。 （ワークシート） ・福祉に関する学習で協同的な学習をして課題解決している。 （行動観察） ・福祉に関する学習で収集した情報を相手や意図、目的に応じて表現している。 （制作物）	学年	国語 社会 保健 技術・家 庭科
(産業) 整理・ 分析	10月	3	○集めた情報の整理・分析 ・シンキングツール「イメージマップ」を用いて、「産業」で学んだことを広げ、各班で記事の視点や内容を考え分担を決める。各自が分担する記事を書く。	学③	・身近な職業について理解し、収集した情報を整理・分析している。 （ワークシート）	学年	国語 社会 技術・家 庭科

まとめ・表現 (産業)	10月 11月	9	○取材した記事を基に新聞（A3版）の制作 ・記事の重要さを考え、壁新聞のレイアウトや絵や写真の挿入などを工夫し、紙面構成を決定する。 ・各自が「リード文」を書く。 ・「リード文」の編集会議を行い、トップ記事を決める。 ・シンキングツール「クラゲチャート」を用いて、トップ記事の「見出し」の編集会議を行う。 ・その他の記事の「見出し」を検討する。 ・新聞（A3版）を完成させる。 (新聞を学校内及び保護者、地域に発信する。)	自② 他③ 学④	・自分の生き方や人とのかかわりについて考え、まとめている。 (ワークシート) ・地域の産業に関する学習で協同的な学習をして課題解決している。 (行動観察) ・地域の産業に関する学習で収集した情報を相手や意図、目的に応じて表現している。 (制作物)	学年	国語 社会 技術・家庭科
まとめ・表現 (福祉・産業)	11月	5	○地域の福祉と産業に関する学習のまとめと発表 ・学習の振り返りを行い、礼状を書く。 ・地域の福祉と産業に関する学習発表の練習を行う。 ・保護者に発表を行う。	学④ 自③	・学習で収集した情報を相手や意図、目的に応じて表現している。 (ワークシート, 礼状) ・身近な職業について理解し、自分の将来設計について考えながら学習へ参加している。 (自己評価)	学年	国語 社会 技術・家庭科
		0	○文化祭での発表				
振り返り	3月	1	○1年間の学習を振り返り ・先輩の話から学び、キャリアノートにまとめと課題を記入。	自③	・身近な職業について理解し、自分の将来設計について考えながら学習へ参加している。 (キャリアノート, 自己評価)	学年	特活 道徳
計		51					

総合的な学習の時間 全体計画

<p>生徒の実態</p> <p>・真面目であるが、更に学習意欲を向上させるために、将来設計力を鍛える必要がある。</p>	<p><u>学校教育目標</u></p> <p>知・徳・体の調和のとれた笑顔に満ちあふれる生徒の育成</p> <p><u>研究主題</u></p> <p>生徒の思考力、判断力、表現力の育成～言語活動の充実・活用を通して～</p>	<p>保護者の願い</p> <p>・基礎学力の向上 ・豊かな社会性と人間性 ・健康で安全な生活 ・将来設計に基づく進路実現</p>
--	--	---

総合的な学習の時間の目標

人口が減少し少子高齢化社会となっている神石高原町の現状を知り、町の抱えている問題に目を向け、解決方法を探っていくことによって、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

各学年の学習内容・指導の重点（特に身に付けさせたい力）

	1 学年（50 時間）	2 学年（70 時間）	3 学年（70 時間）
テーマ	①地域の福祉と産業を学習することを通して、地域の現状と職業への理解を深める。	①職場体験から自分のできる事を考える。 ②地域の文化と異文化を比較して我が町（県）をみつめる。	①油木の自然・歴史・産業などについて探究し、故郷の未来と自己の生き方を考える。 ②進路情報の収集をし、将来を見通しながら意志決定をする。
主な学習内容	①について ・地域の福祉を探究的に学習し、福祉体験学習を実施する。 ・地域の産業について学習する。特に農業については、トマト栽培を体験する。 ・様々な職業について探究的に学習する。	①について ・地域の産業と仕事について探究的に学習し、職場体験学習を実施する。 ・自己と社会との繋がりを意識し興味関心のある職業について探究的に学習する。 ②について ・将来国際社会の一員として生きていくために、異文化との比較と探究的な学習を通して、郷土に誇りをもつ。	①について ・地域について探究し、地域の豊かな未来のために何ができるか考えるとともに、自己の生き方を考える。 ・地域社会の一員として、なすべきことを考え協力して活動する。 ②について ・進路情報を収集し考察し意思決定する。
育てようとする資質や能力及び態度	【学習方法】 課題設定 思考判断 収集整理 分析 表現	○適切に課題を設定する。（課題設定） ○学習を通して課題の事実や関係を把握し、既習事項を活用して考える。（思考判断） ○相手や目的、意図に応じて手段を選択し、情報を収集する。（収集整理・分析） ○相手や意図、目的に応じて表現する。（表現）	○興味、関心をもち、習得している知識技能を活用して、適切に課題を設定する。（課題設定） ○各グループの企画を異なる立場や背景などを明確にして思考し分析する。（思考判断） ○主体的に情報を集め、適切に選択し活用することができる。（収集整理・分析） ○相手や目的、意図に応じて論理的に表現することができる。（表現）
	【自分自身】 自己理解 将来展望 計画実行	○自らの生活のあり方を見直し、日常的に実践する。（自己理解） ○自己の将来を考え、夢や希望をもつ。（将来展望）	○自分の人生や将来、職業について具体的に考える。（将来展望） ○自分の課題解決に向けて計画的に見通しをもって、探究活動ができる。（計画実行）
	【他者や社会】 他者理解 協同 社会参画	○異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重する。（他者理解） ○学校内外の人との関わりやコミュニケーションができる。（他者理解） ○互いの特徴を生かし、協同して解決する。（協同）	○仲間と協力して根気強く課題を追究し解決する。（協同） ○社会の中に生きる一員として、自分は何をどのようにすべきか考え行動する。（社会参画）

指導方法	指導体制	評価計画
○体験活動と事前事後指導を充実させる。 ○言語活動（比較・関連・根拠・説明・分析・考察・把握）を充実させ、育てようとする資質や能力及び態度の育成を図る。 ○各教科で習得した知識・技能を活用させる。 ○協同的な学習により他者と意見交流させる。 ○シンキングツールを用いて、学習方法や内容を検討させる。	○学年体制で指導にあたる。 ○T Tで指導にあたる。 ○地域等の関係機関と連携し、必要に応じて外部人材を活用する。	○評価の観点と評価規準を設定する。 ○ポートフォリオ・制作物、ワークシートなどの評価物・発表・自己及び相互評価による。 ○事前事後のアンケートで成長を分析する。

各教科等との関連

国語	思考・表現(発言・記述)・伝え合う能力・情報活用、分析・発見・判断	音楽	技能・表現、創造、音楽と生活との関わり
社会	社会に関する教養(福祉・歴史・自然・文化)、社会参画していく資質と能力	美術	技能・表現、創造、美術と生活との関わり
数学	統計処理、情報活用、発見、思考、判断、表現、説明	保健体育	技能・表現、協力・参画・責任などの人間関係形成、社会形成、健康管理
理科	科学的思考(自然・化学)考察、情報活用、発見、判断力、表現・科学技術と人間生活との関わり	技術家庭科	知識と技能の生活への活用、家庭生活との関わり・福祉
外国語	発見、思考、コミュニケーション、表現力	道徳	道徳的心情・判断・実践意欲と態度、キャリアプランニング、人間関係形成
特別活動	心身の調和のとれた発達と個性の伸長、進路設計・キャリアプランニング、人間関係形成、社会形成		

地域との連携	異校種との連携
○地域の社会福祉施設等関係機関との連携 ○地域公共図書館等の利用 ○地域事業所との連携	○中学校区内の小学校との連携 ○町内の各中学校との連携 ○町内の高等学校との連携